

27年2月分

製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年 1月20日～ 27年2月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/2月	3月	4月
入荷動向	国産材製材品	0.0	7.1	21.4
	外材製材品	△ 28.6	△ 21.4	△ 14.3
	その他	△ 8.3	8.3	8.3
販売動向	国産材製材品	△ 21.4	△ 14.3	△ 14.3
	外材製材品	△ 28.6	△ 7.1	△ 7.1
	その他	△ 16.7	0.0	0.0
在庫動向	国産材製材品	7.1	14.3	21.4
	外材製材品	△ 7.1	0.0	7.1
	その他	△ 16.7	△ 16.7	0.0

・国産材製材品の入荷は、2月の横ばいが、3月、4月は増加、外材製材品は3ヵ月連続して減少、その他は2月の減少から3月、4月は増加に。
・国産材及び外材製材品の出荷は、3ヵ月連続して減少、その他は2月の減少から3月、4月は横ばいに。
・国産材製材品の在庫は、3ヵ月連続して増加、外材製材品は2月の減少から3月は横ばい、4月は増加に、その他は2月、3月の減少が3月は横ばいに。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		26/2月	3月	4月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 7.1	△ 7.1	△ 7.1
	柱角 KD12×3	△ 7.1	△ 7.1	△ 7.1
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	△ 8.3	△ 8.3	△ 8.3
	母屋角	0.0	0.0	0.0
	タルキ	△ 7.1	0.0	0.0
	間柱	△ 7.1	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	7.1	7.1
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	△ 7.1	△ 7.1
	柱角 KD12×3	0.0	△ 7.1	△ 7.1
	土台角 10.5×4	△ 7.1	△ 7.1	△ 7.1
	土台角 12×4	△ 7.1	△ 7.1	△ 7.1
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	0.0	7.1	7.1	
米マツ割物	7.1	7.1	7.1	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	8.3	8.3	8.3	

・スギ製材品の価格は、柱角及び桁角は、3ヵ月連続してやや弱保合、それ以外は総じて保合。
・ヒノキは総じて保合ないしやや弱保合。
・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。
・米マツは総じて保合ないしやや強保合。
・北洋エゾマツタルキは3ヵ月連続して横ばい。
・北洋アカマツタルキは3ヵ月連続してやや強保合。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・東北材は雪の影響もあり出材は非常に悪い。荷主からの値上げ要請は通らない状況。
- ・東北雪のため入荷順調、外材アカマツ入荷順調、WW間柱入荷少ない、米ツガ筋交、根太入荷少ない。販売は2月ビルダー動き悪く、期待薄。動き悪く在庫増加、WW27mm, 105mm, 3000mm、WW30mm, 120mm, 3000mm在庫少なく、アカマツ在庫横ばい。
- ・売れ行き悪く、市中間屋は減らないが、素材自体は品薄。販売は低迷。在庫は原木出材は減少して先行き不安定。
- ・昨年12月から荷動きが悪いが、1月中旬以降一段と悪い。プレカット工場からの引き合いも減少。
- ・入荷は様子見の模様。春先の住宅着工が伸びるか現状は微妙、入荷を減らし在庫を減らしている。

(価格動向)

- ・受注物件少なく、ヒノキ柱、土台の動きは悪い。
- ・スギ柱角 (KD10.5cm, 12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³ 動き悪い、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 66,000円/m³、スギ加工板 (グリーン材) 束2,800円、(KD) 束3,800円、スギヌキ (東北) 40,000円/m³、(秋田) 50,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角・土台角 (KD) 85,000円/m³、米マツ平角68,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキ (S) 68,000~70,000円/m³、(P) 57,000円/m³。
- ・スギ小径木製品は全般的に品薄。ヒノキ柱、土台の動きがとにかく悪い。
- ・スギは、主に住宅用に使用されるも木材需要が落ち込む中、梱包用 (スギヌキ) や土木用の木材 (米マツ、アカマツ) は落込みが少ない。
- ・各品目の価格動向は様子見。